



# レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター  
 ☎ 019-651-1000  
 盛岡市かわいキャンプ  
 ☎ 0193-76-2005  
 kawai-camp@echna.ne.jp

## キャンプ利用状況 (3月11日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,652 名 \*2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 10 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,634 名 \*2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 10 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区分	3/11	12	13	14	15	16	17
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	38	35	32	30	21	19	36
活動者	62	43	43	42	47	42	31
内訳	個人	62	43	35	34	24	23
	団体	0	0	8	8	23	19

## 震災1年 宮古市で追悼式 山根りんさん(宮古商高2年)追悼の言葉

- ◆ きょう 11 日、15,000 名を超える犠牲者を出した東日本大震災から 1 年。全国各地で鎮魂の追悼式が行われました。ここ宮古市では、雪が舞い散り冷え込む中、東日本大震災一周年追悼式が宮古市民総合体育館(シーアリーナ)で開催されました。会場には、約 2,000 名の遺族や市民の方々が参列され、かわいキャンプからも瀧野所長と千葉副所長が出席しました。
- ◆ 追悼式では、山本宮古市長さんが式辞で復興への強い決意を述べられました。遺族代表の山根りんさんは、亡きお母さんに対する思いを「母に感謝の言葉をかけることも、親孝行もできなかったが、私が生きていることが一番の恩返し」と述べ、「たくさんの人の支援に人間の温かさを知った。漁業の町・宮古市の復興のために、震災を体験し生き抜いた者として風化させることなく伝え、世界・日本中からの支援に感謝し必ず恩返ししたい」と追悼の言葉がありました。
- ◆ また、「わたしの主張宮古地区大会 “命てんでんこ”」と題してわたしの主張宮古地区大会で最優秀賞に輝いた宮古市田老第一中 2 年の加藤諒太さんが「何度も津波の被害に遭い乗り越えてきた町・田老。校歌の 3 番に田老一中生の進むべき道を示している」として、「防浪堤を仰ぎ見よ 試練の津波幾たびぞ 乗り越え立てし 我が郷土 父祖の偉業や跡継がん」と大きな声で朗々と歌い上げ、「あの日のことをたくさんの人に伝え、命を大切にしよう伝え、けっしてあきらめず僕らの未来をつくりたい」と締めくくりました。
- ◆ 地震発生時刻の午後 2 時 46 分、政府主催の追悼式典の中継に合わせて 1 分間の黙とうを捧げました。9 日現在、岩手県内で亡くなられた方は 4,671 名。1 年も経つというのに行方が分からない方は未だ 1,261 名に上っています。岩手県警と海上保安部が、9 日から 3 日間、延べ 1,140 名を投入し、行方不明の方の大規模捜索が行われましたが、発見されなかったということです。

